

早期臨床体験：医療人としてのヒューマニズム

責任者・コーディネーター	薬学教育学分野 奈良場 博昭		
担当講座・学科(分野)	生体防御学分野、地域医療薬学分野、神経科学分野		
対象学年	2	区分・時間数	実習 37.5 時間
期間	通年		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

専門科目が本格的に始まった2年生として、臨床に関わる様々な事象を体験、討論、グループワークを通して学び、考える。将来、薬剤師として自らが目指す目標を考え、今後の学びの礎とする。

・教育成果（アウトカム）

医療人としての倫理観を醸成すること、災害医療を学ぶこと、施設での介護の体験すること、そして学ぶということ意義を理解することなどを通して、「誠の医療人」を目指す自覚を確立する。

・到達目標（SBO）

人の一生と医療に関わる生命倫理

1. 生と死、医療などに関わる倫理的問題を、生命倫理の諸原則等に基づき説明できる。
2. 様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。（☆）
3. 患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。（☆）

被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ

1. 東日本大震災について岩手県の状況を説明できる。（☆）
2. 東日本大震災について岩手県の復興状況を説明できる。（☆）
3. 災害時の避難所の運営の難しさを理解する。（☆）
4. 災害時の薬剤師の役割に関して概説できる。（☆）

施設での介護を体験する

1. 介護・福祉施設における薬剤師業務と薬剤師の役割を説明できる。
2. コミュニケーションを通して、患者にかかわり、好ましい関係を保つ。（態度）
3. チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。（態度）SBOs:3

ドリームナビ及びコーチング入門

1. コーチングとティーチングの違いを説明できる。
2. 傾聴、承認、質問の基本を実践できる。
3. 社会の中で貢献し活躍している自分の将来像を描ける。

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/3	火	3	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (1)導入講義 1. 生と死、医療などに関わる倫理的問題を、生命倫理の諸原則等に基づき説明できる。
4/4	水	2	神経科学分野	駒野 宏人 教授	コーチングの概要を学び、ティーチングとの違いを理解する。コーチングの基本スキル（傾聴、承認、質問）の意義を理解し実践できる。
4/4	水	3	神経科学分野	駒野 宏人 教授	コーチングの基本スキル（傾聴、承認、質問）の意義を理解し実践できる。
4/13	金	3	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (2)課題の提示 教材視聴 1.様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。
4/14	金	4	生体防御学分野	大橋 綾子 教授	人の一生と医療に関わる生命倫理 (3)教材視聴 SGD 役割分担 1.様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。
4/20	金	3	生体防御学分野 創剤学分野 薬物代謝動態学分野 薬物代謝動態学分野 分析化学分野 分析化学分野 臨床医化学分野 分子細胞薬理学分野	大橋 綾子 教授 松尾 泰佑 助教 幅野 涉 准教授 寺島 潤 助教 藤本 康之 准教授 牛島 弘雅 助教 大橋 一晶 准教授 齊藤 麻希 助教	人の一生と医療に関わる生命倫理 (4)SGD 1.患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。
4/20	金	4	生体防御学分野 創剤学分野 薬物代謝動態学分野 薬物代謝動態学分野 分析化学分野 分析化学分野 臨床医化学分野 分子細胞薬理学分野	大橋 綾子 教授 松尾 泰佑 助教 幅野 涉 准教授 寺島 潤 助教 藤本 康之 准教授 牛島 弘雅 助教 大橋 一晶 准教授 齊藤 麻希 助教	人の一生と医療に関わる生命倫理 (5)SGD 発表準備 1.患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。
4/27	金	3	生体防御学分野 生体防御学分野	大橋 綾子 教授 丹治 貴博 助教	人の一生と医療に関わる生命倫理 (6)発表会

			生体防御学分野 情報薬科学分野 分子細胞薬理学分野 分子細胞薬理学分野 創剤学分野	錦織 健児 助教 佐京 智子 助教 斉藤 麻希 助教 衣斐 美歩 助教 杉山 育美 助教	1.様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。 2.患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。
4/27	金	4	生体防御学分野 生体防御学分野 生体防御学分野 情報薬科学分野 分子細胞薬理学分野 分子細胞薬理学分野 創剤学分野	大橋 綾子 教授 丹治 貴博 助教 錦織 健児 助教 佐京 智子 助教 斉藤 麻希 助教 衣斐 美歩 助教 杉山 育美 助教	人の一生と医療に関わる生命倫理 (7) 発表会 総括 1. 様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性と難しさを理解する。 2. 患者・患者家族・生活者の視点から、求められる医療人像やチーム医療のあり方について討議する。
5/14	月	1・2	薬学教育学分野 創薬有機化学分野 創薬有機化学分野 衛生化学分野 臨床医化学分野 創剤学分野	奈良場 博昭 教授 辻原 哲也 助教 稲垣 祥 助教 米澤 正 助教 高橋 巖 助教 松尾 泰佑 助教	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・避難所運営を体験する
5/14	月	3・4	薬学教育学分野 生体防御学分野 地域医療薬学分野	奈良場 博昭 教授 大橋 綾子 教授 高橋 寛 教授	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・沿岸被災地について事前学習する
5/15 ～ 5/17	火 ～ 木	1 ～ 4	薬学教育学分野 薬学教育学分野 薬学教育学分野 薬学教育学分野 地域医療薬学分野 薬物代謝動態学分野 分析化学分野 臨床医化学分野	奈良場 博昭 教授 宮澤 倫子 非常勤講師 金野 良則 非常勤講師 湊谷 寿邦 非常勤講師 高橋 寛 教授 幅野 涉 准教授 藤本 康之 准教授 大橋 一晶 准教授	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・沿岸被災地を訪問し、行政や薬剤師の説明を聞く ・沿岸被災地の現状を把握する 施設での介護を体験する ・介護・福祉施設における薬剤師業務と薬剤師の役割を説明できる。 ・コミュニケーションを通して、患者にかかわり、好ましい関係を保つ。 (態度) ・チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。(態度)
5/18	金	3・4	薬学教育学分野 生体防御学分野 地域医療薬学分野 薬学教育学分野	奈良場 博昭 教授 大橋 綾子 教授 高橋 寛 教授 熊谷 明知 非常勤講師	被災地と災害時の薬剤師の役割を学ぶ ・沿岸被災地についてまとめる
9/3	月	3	神経科学分野 分子細胞薬理学分野	駒野 宏人 教授 衣斐 美歩 助教	薬剤師等の医療人として活躍している将来像を思い描き、それを写真や絵を使ってコラージュで表現する。

9/3	月	4	神経科学分野 衛生化学分野	駒野 宏人 教授 杉山 晶規 准教授	薬剤師等の医療人として活躍している将来像を思い描き、それを写真や絵を使ってコラージュで表現する。
9/14	金	2	神経科学分野 薬学教育学分野	駒野 宏人 教授 奈良場 博昭 教授	建学の精神「誠の人間」とは、どのような人間かを学ぶ。岩手医大創立者「三田俊次郎」、初代学長「三田定則」あるいは岩手の偉人らの生き方、書物を学び、「誠の人間」について考える。
9/14	金	3	神経科学分野 薬学教育学分野	駒野 宏人 教授 奈良場 博昭 教授	各自の「誠の人間、誠の医療人」像を考え発表し共有できる。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
	薬学生・薬剤師のためのキャリアデザインブック ver.2	西鶴智香	薬事日報社	2017

・成績評価方法

担当教員 4 名が 25%の割合で、参加態度、レポート、感想文などから評価する。

・特記事項・その他

体験型学習のため自ら進んで積極的に参加することが望ましい。